

2 自動車の排出ガス問題の現状

運輸部門の道路交通環境問題としては、自動車から排出される二酸化窒素（NO₂）などの窒素酸化物（NO_x）や粒子状物質（SPM）等によって生じる大気汚染があります。NO_xは、酸性雨や光化学スモッグの原因となるばかりでなく、人体（呼吸器）に悪影響を与え、またSPMも、肺や気管支等に沈着して呼吸器に悪影響を与えると言われています。

NO₂について2014年度の環境基準達成率は、一般環境大気測定局^{※1}（一般局）では近年すべての測定局で環境基準を達成しており、2006年度から9年連続で100%となりました。自動車排出ガス測定局^{※2}（自排局）では2013年度と比較すると若干改善し99.5%、自動車NO_x・PM法の対策地域の自排局では99.1%でした。

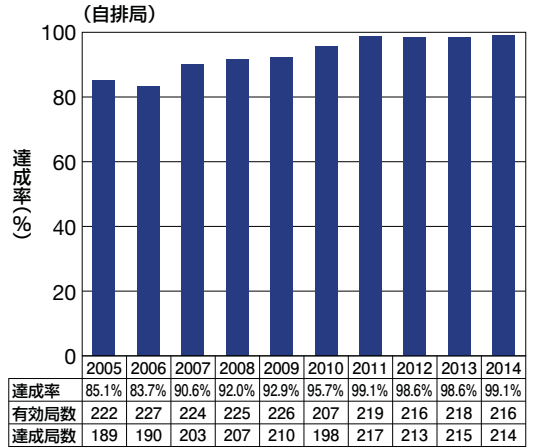
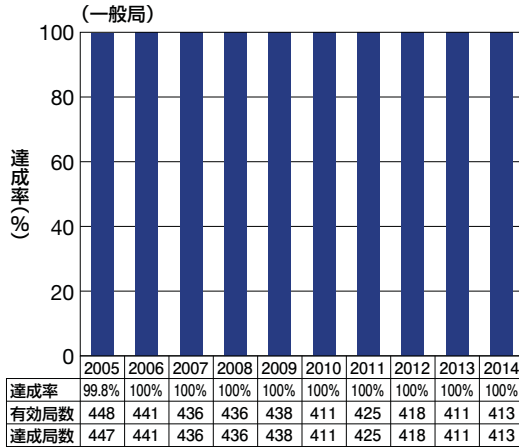
SPMについて2014年度の全国での環境基準達成率は、一般局で99.7%、自排局で100%であり、2013年度（一般局：97.3%、自排局：94.7%）と比較すると、一般局、自排局とも改善しました。また、自動車NO_x・PM法の対策地域でのSPMの2014年度の環境基準達成率は、一般局では99.8%、自排局では100%で、ともに改善しました。

※1 一般環境大気測定局：一般大気汚染状況を常時監視する測定局。（全国：1,494局）

※2 自動車排出ガス測定局：自動車走行による排出物質に起因する大気汚染の考えられる交差点、道路及び道路端付近の大気を対象にした汚染状況を常時監視する測定局。（全国：416局）

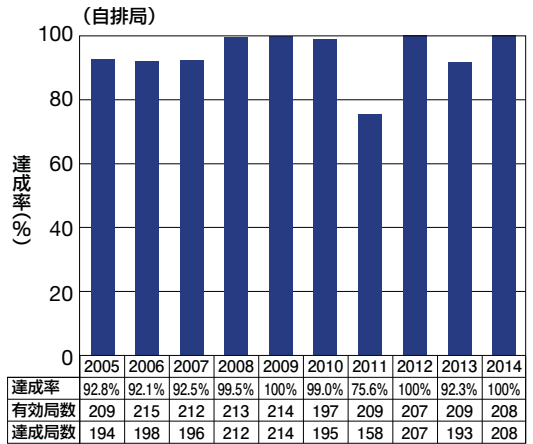
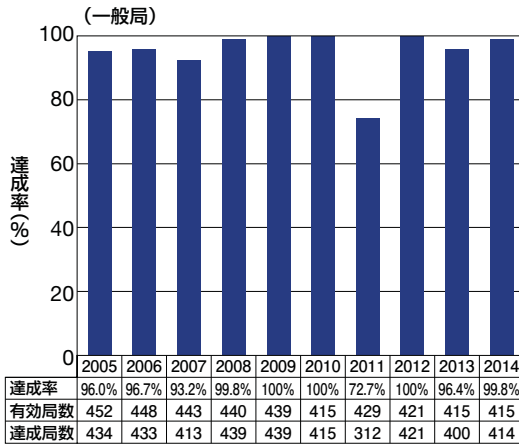
II. 運輸部門における主要な環境問題の現状

●自動車NOx・PM法の対策地域におけるNO₂の環境基準達成率の推移（2005年度～2014年度）



出典：環境省ホームページ

●自動車NOx・PM法の対策地域におけるSPMの環境基準達成率の推移（2005年度～2014年度）



出典：環境省ホームページ